

くすのき

《題字》
筆耕同好会 土井 正子書

◆◆ 平成25年度定時総会から ◆◆



和泉の郷 再発見!

今を去ること約千二百八十年前、聖武天皇は光明皇后の御産で悩まれていた。天皇は皇后の安産祈願を、和泉の郷にいた高僧行基に命ぜられた。滝に打たれて祈願中、大きな桜の木に光明がさし、皇后が皇子を御安産された旨を告げられたと伝えられている。行基はその桜を伐つて阿弥陀如来を刻み、以後の安産祈願の為、大野山子安阿弥陀寺を建立した。

背景の山々をゆったり背負うような阿弥陀寺の眼下に、のどかな山村が広がる。広くはないものの、境内に陣取る桜の巨木たちが、春には見事な色彩を競い合う。慌ただしい現実を離れ、一度ゆっくりと足を運びたい日本古来の山村風景がそこにある。(坂本)



大野山子安阿弥陀寺
(和泉市大野町)

contents

- 皆様へのごあいさつ 公益社団法人 和泉市シルバー人材センター 理事長 油谷 巧 2
- 平成 25 年度 定時総会報告 新企画提案事業の取り組み 3
- 職場探訪 矢野金属株式会社 4

- 会員の皆さんと安全就業 5
- 会員のひろば 6・7
- フォトギャラリー 8